



2019年2月19日

「広東・香港・澳門大湾区」開発計画要綱の発表（仮訳）

中央政府は2019年2月18日、「広東・香港・澳門大湾区開発計画要綱」を発表した。この計画の基本原則には、大湾区をイノベーションによってけん引し、改革によって主導すること、開発と計画を総体的に調整すること、開放と協力によってwin-winの結果を達成すること、および「一国二制度」を守ることが含まれる。大湾区は、以下を目指す地域として位置付けられている。香港・マカオの自由な開放経済としての優位性や、広東省の改革・開放の先駆者としての優位性を活用すること。改革の深化とさらなる開放を継続すること。優れた経済開発のための制度や仕組みの開発において国を先導し、模範となること。機構改革、早期導入やパイロット試験を促進すること。現代的な経済システムを開発すること。グローバル市場システムへの統合を改善すること。新興産業、先進的な製造業および現代的なサービス産業のグローバルな基盤を構築すること。ならびに国際的な競争力を有する世界水準の都市クラスターを開発すること。開発目標には以下が含まれる。

- 2022年まで：大湾区全体の力を大幅に高めること。広東省、香港およびマカオの協力を深化・拡大すること。地域内において開発のための内的な原動力をさらに高めること。ならびに、最適化された産業構造、さまざまな要素の円滑な移動、および快適な生態学的環境を伴う、活発かつ高度に革新的な、国際的な最高水準のベイエリアおよび世界水準の都市クラスターのための枠組みを実質的に構築すること。
- 2035年まで：大湾区の経済システムおよび開発形態が主としてイノベーションに支えられるようになり、経済・技術上の強みが大幅に向上し、国際的な競争力と影響力が一段と強化されること。大湾区内の市場が概ね高度に接続された状態となり、さまざまな資源や生産要素の流れが非常に効果的かつ効率的になること。地域開発における協調が大幅に改善し、近隣地域に対する影響力が一段と強まること。市民が裕福になること。社会の礼儀正しさの水準が新たな高みに達し、文化的なソフトパワーが明確に強化され、中国の文化的な影響力が拡大・深化し、異文化間の交流と統合が一層向上すること。資源の保全と効率的な利用の水準が大幅に改善すること。生態学的環境が有効に保護されること。ならびに、生活・仕事・旅行のための国際的な最高水準のベイエリアが十分に開発されること。

計画では香港、マカオ、広州および深圳を中核的な都市として指定し、地域開発をけん引する中心的な原動力としている。この4都市は、近隣地域の開発を主導する上で、自らの競争優位を活かし、波及効果を強める見込みである。

この計画は、香港が国際的な航空ハブおよび金融・輸送・貿易センターとしての地位を強化・向上させること、ならびにグローバルなオフショア人民元ビジネスのハブとしての地位、国際的な資産運用センターおよびリスク管理センターとしての役割を強めることを支援する。また、香港が高級かつ高付加価値な金融、商業・貿易、物流および専門サービスの開発を促進し、イノベーションとハイテク産業の開発のために大きな努力を払い、新興産業を育成し、アジア太平洋地域の国際的な法務・紛争解決サービスの中心地としての地位を確立することを支える。